
令和元年度 小学校教育課程研究集会 ～特別の教科 道徳～

奈良県教育委員会事務局
学校教育課 指導主事 丹下 博幸
MAIL [tange-hiroyuki@office.pref.
nara.lg.jp](mailto:tange-hiroyuki@office.pref.nara.lg.jp)

道徳教育の目標

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、**自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うこと**を目標とする。

道徳科の目標

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、**道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習**を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

学校の教育活動全体を通して

道徳性を養う指導

各教科 外国語活動
総合的な学習の時間 特別活動で



日常の学校生活や体験活動で



道徳科で

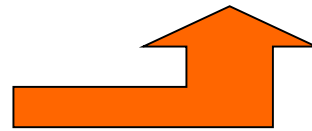
- 週1時間の授業で
- 計画的・発展的に
- 今後出会うであろう場面で、主体的に道徳的な行為ができるように

実践の指導

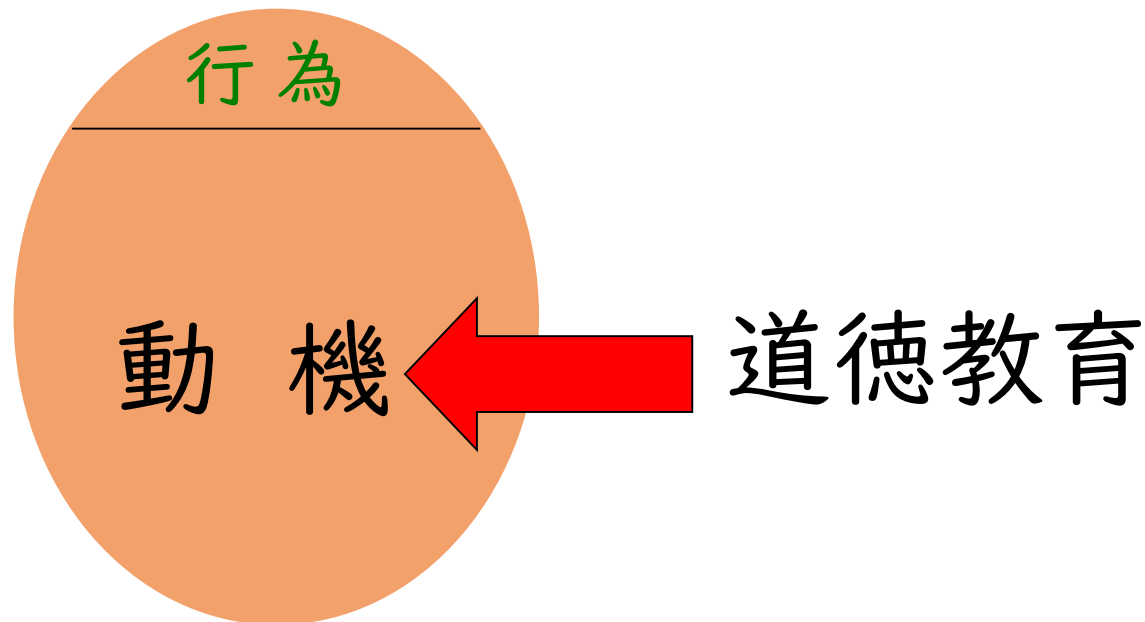
内面的資質の育成

行為 ← 動機

道徳教育が視点を当てる方は？



道徳科が「行為」の指導になってはいないか？



道徳科の目標について

第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、**よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため**、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる**。

道徳科以外における道徳教育との関連を図りながら、計画的、発展的な指導によってこれを補ったり、深めたり、相互の関係を考えて発展させ、統合させたりする道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳性を養う。

考え、議論する道徳

考える
主体的に
自分との関わりで

自分の考え方、感じ方
を明確にする

多様な考え方、
感じ方と出会い
交流する

自分の考え方、感じ方
をより明確にする

道徳科の評価について

児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

(小学校学習指導要領 P168)

道徳科の評価の在り方

- ・数値による評価ではなく、認め、励ます個人内評価として記述式で評価すること。
- ・個々の内容項目ごとではなく、大きくくりなまとまりを踏まえた評価とすること。
- ・他の児童との比較による評価ではなく、児童一人一人の成長に着目し、よい点や可能性、進歩の状況を積極的に受け止めて認め、励ますことが求められること。
- ・学習活動により児童がより多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視すること。

道徳教育と道徳科の評価

評価の公的な文書である「指導要録」の場合

道徳教育

教育活動全体で見られた
児童の道徳的な行為等

行動の記録

総合所見及び指導上参考となる諸事項

道徳科

児童の学習状況及び
道徳性に係る成長の様子

新たな枠

道徳科の授業における児童の評価の視点

授業では、児童の何を見取るのか

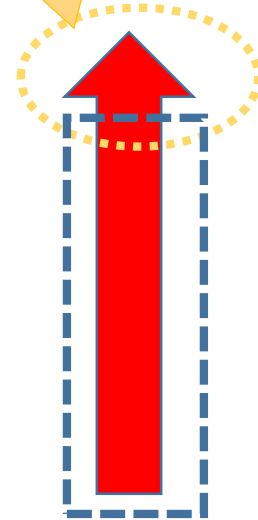
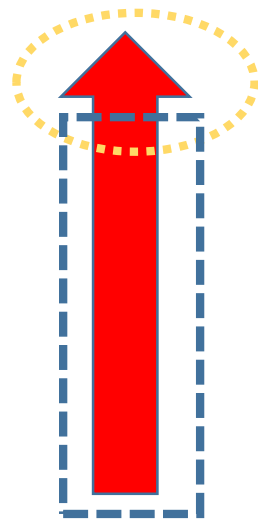
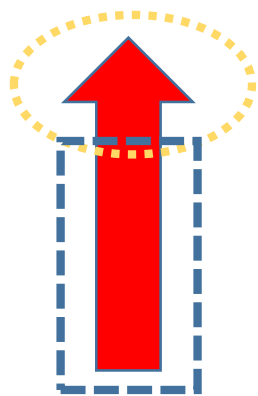
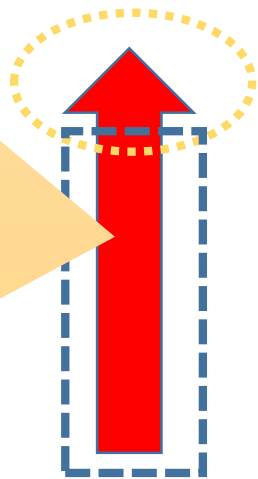
成長を受け止めて認め、励ます **個人内評価**

指導の明確な意図

評価基準はなく、達成度は評価できない。

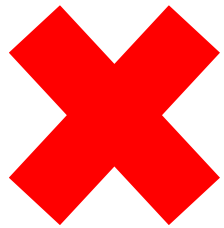
道徳科の授業のねらい

評価するのは、児童の学びの姿



ねらい

きまりの意義を理解し、みんなのことや周りの状況を考えて、きまりを守ろうとする態度を育てる。



道徳的価値がどれだけ理解できたか。
道徳性の様相がどれだけ育ったか。

指導者はねらいを設定して授業に臨むが、そのねらいをゴールとして児童の評価は行わない。

児童の学習状況を見取るための二つの視点の例

① 一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうかを見取る視点の例

- ・ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている。
- ・ 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。
- ・ 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている。 など

② 道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうかに関する視点の例

- ・ 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている。
- ・ 現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している。
- ・ 道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている。
- ・ 道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている。 など

児童の学習状況を見取るための二つの視点の例

道徳科の学習状況（**学びの姿**）の例

- ・ 道徳的価値のよさや大切さについて考えようとしている。
- ・ 道徳的価値について、1つの見方ではなく様々な角度から捉えて考えようとしている。
- ・ 道徳的価値について、自分のこれまでの体験から感じたことを重ねて考えようとしている。
- ・ 授業で学んだ道徳的価値のよさを感じ、これからの自分の生き方に生かそうとしている。 **など**

道徳科の学習指導過程や指導方法に関する評価の観点の例

道徳科の指導に生かす具体的な多面的・多角的な見方の例

- ・ねらいとする道徳的価値の様々な面を考える。
- ・道徳的価値を支える様々な根拠を考える。
- ・様々な登場人物の立場で考える。
- ・焦点を絞って考えたり、視野を広げて考えたりする。
- ・時間の経過とともに変化する気持ちを考える。
- ・人間の強さや弱さなどを捉えて考える。 など

道徳科の指導に生かす自分自身との関わりの中で深めている例

- ・教材の登場人物に自分を置き換えて考える。
- ・教材の問題点等を自分事として受け止めて考える。
- ・日常生活や学校生活等を想起しながら考える。
- ・自分の生活を見つめ、振り返りながら考える。
- ・自分だったらどうするかなど考える。 など

観点

指導者

指導者が指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となるもの

視点

児童生徒

自らの成長を実感し意欲の向上につなげていくもの

指導に生かされ、児童生徒の成長につながる評価でなくてはならない。

指導と評価の一体化

評価するに当たっての配慮

- ・ 発言が苦手だったり、文章で書くことが苦手だったりする児童に対する配慮。
- ・ 発達障害等のある児童や海外から帰国した児童、日本語習得に困難のある児童等に対する配慮
- ・ 組織的、計画的な評価の推進 など

道徳科の授業で大切にしていきたいこと

道徳教育と道徳科のつながりを明らかにした指導

道徳科の特質を踏まえた指導

道徳科のねらいを踏まえ、道徳科の授業で児童に、何について考えさせ、何に気付かせたいのかを明確にもつこと

学習指導過程や指導方法、教材・教具等の工夫は、目的ではなく手段であることを認識すること